

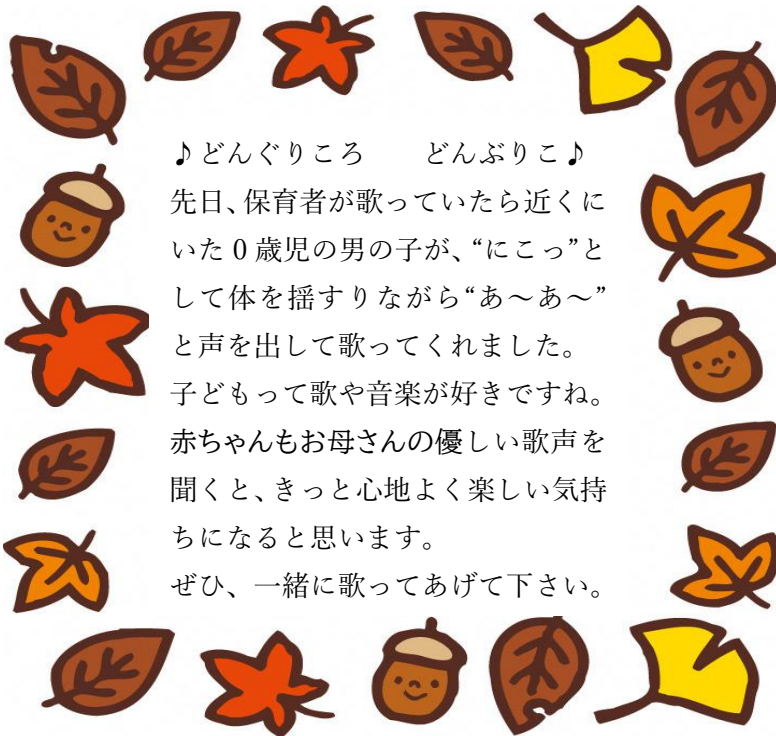


# すくすく

11月号

令和4年10月24日  
松代子育て支援センター

運動会も終わり、保育園の子ども達は、どんぐり拾いや大地の芸術を観賞に出かけています。又、園庭では赤とんぼをつかまえたり、カマキリやバッタ、カエルを見つけて大喜びをする子どもたちの声が響き秋を満喫しています。



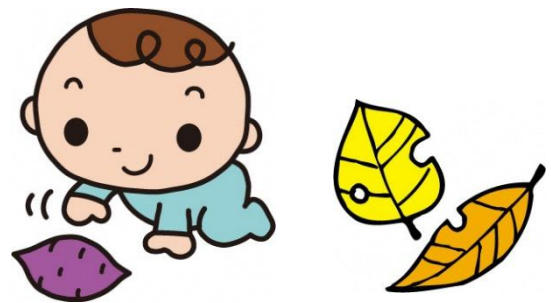
♪どんぐりころ どんぶりこ♪  
先日、保育者が歌っていたら近くにいた0歳児の男の子が、“にこっ”として体を揺すりながら“あ～あ～”と声を出して歌ってくれました。子どもって歌や音楽が好きですね。赤ちゃんもお母さんの優しい歌声を聞くと、きっと心地よく楽しい気持ちになると思います。ぜひ、一緒に歌ってあげてください。

10月のすくすく乳幼児健康相談は感染予防対策の為、中止にさせていただきました。来月は**11月18日(金)**です。家庭相談員さんの育児相談と歯科衛生士さんによるブラッシング指導があります。希望する方は保育園へ連絡して下さい。

## まつだい保育園

**597-2178**

お待ちしております。



## ハイハイについて

### ずいばいの頃

『キックでハイハイ』  
赤ちゃんをうつ伏せにして足の裏に大人が手を添えます。赤ちゃんが足を蹴る時に大人が手で受け止め、前に進めるようにします。進行方向の少し前に赤ちゃんの好きなおもちゃを置いて進みたい気持ちを誘ってもいいですね。

### ハイハイの頃

『あちこちでハイハイ』  
ハイハイが上手になってきたら、マットや布団で傾斜を作り、いろいろな所でハイハイできるようにします。

ハイハイで前に進むには腕と足、体を運動させることが必要ですし、体を支える筋肉が鍛えられます。また、ハイハイで移動することが認知の育ちを促す為、適切な時期にハイハイを始めるよう「キックでハイハイ」などの遊びを通じた支援を考えてみるのも良いでしょう。

実は、「ハイハイをたくさんする程〇〇に効果がある」というデータはありません。ハイハイの効果として「体幹が強くなり、姿勢が良くなる」「転んだ時に手で体を支えることができる」等様々なことを言われていますが、厳密に検証されたものではないのです。

ハイハイをたくさんするか、ハイハイが出来るようになったらすぐにつかまり立ちや伝い歩きに進むか等は個人差があり、その子なりの育ちの形です。

子どもがその時興味を持ってチャレンジしていることを見守りましょう。